

高齢期の生活と福祉 着脱衣の介助 実習例【家庭／家庭基礎】

1 科目における位置づけ

「A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (4) 高齢期の生活と福祉」学習後、まとめとして設定する

2 高齢者の介助に関する実習のねらい

- (1) 高齢者の心身の特徴，社会環境，高齢者とのかかわる際に重要な尊厳や自立の視点，関わり方などについて理解し，生活支援に関する基本的な技能を身に付ける。
- (2) 食事・着脱衣の介助実習を通して，安全に配慮すること，高齢者の自己決定，主体的参加の尊重の大切さに気付き，考えを深める。

3 準備するもの

生徒：カーディガンなどの前開きの上衣

4 方法 (30 分完了)

<p>予想する (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二人ペアになり，事例を読む。 ・二人で相談しながら介助方法をイメージし，手順や声掛けを考えてワークシートに記入する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【事例】あなた（孫）と同居する祖母Aさん（87歳，女性）は，右利きですが右肩に関節痛があり，思うように腕を動かすことができません。また，補聴器は着けていません。</p> <p>ある日，午後になって気温が下がってきたため，Aさんは上着のカーディガンを着ることにしました。</p> <p>さて，あなた（孫）はAさんに，どのように介助しますか？</p> </div>
<p>実践する (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・孫役とAさん役になり，介助を行う。
<p>再考する (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気付いた点等について意見交換を行い，介助方法，留意点，衣類選択の視点と根拠を考え，ワークシートに記入する。
<p>改善する ・ 確認する (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞き，ワークシートの記入内容について確認し，介助をやり直してみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【介助方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるところは見守り，うまくできないところを介助する。 <p>高齢者は，動作がゆっくりであるため，動作に合わせて見守る心の余裕も大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋力低下により，バランスを崩して転倒しないように注意する。 ・脱健着患の原則を基に，声掛けをしながら，以下の手順で行う。 <p><着る場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 介助者が関節を支えながら患側（右）に袖を通す（肩まで着る）。 <ul style="list-style-type: none"> ・手首からひじ，ひじから肩2段階に分けて上着を動かし，しっかり肩までたくし上げる。高齢者には健側（左）の手を使ってもらう。 ・必要があれば，袖口から袖山までを介助者があらかじめ手繰り寄せておくとう着せやすい。 ② 高齢者が健側（左）の手で上着の襟元を持ち，背中から回して前へ持ってくる。 ③ 高齢者が健側の袖を通す。 ④ 必要に応じて高齢者がボタンを留めたりファスナーを閉じたりする。 <p>※参考</p> <p><脱ぐ場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高齢者がボタンを外したりファスナーを開けたりする。 ② 高齢者が健側の肩を脱ぐ。 ③ 高齢者が患側の袖を抜く。 </div>

	<p>【衣服選択の視点（根拠）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の好み（自己決定の尊重）。 ・身体的側面を考慮して、できるだけ本人が着脱しやすいもの（自立につながる）。 ・下着や寝衣はやわらかく、吸湿性や通気性があるもの(汗を吸収し、皮膚を保護)。 ・保温性があるもの（体温調節機能が低下しているため）。 ・軽い素材（筋力低下により、重い上着類を負担に感じる人もいるため）。 ・ゆとりや伸縮性があるもの、裏地付きのもの（着脱が楽になるため）。
<p>振り返る (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を終えて、感じたことや気付いたことを各自でワークシートに記入する。 ※時間に余裕がある場合は、丸首シャツにもチャレンジする。

5 評価

着脱の介助を通して、安全に配慮すること、高齢者の自己決定、主体的参加の尊重の大切に気付き、考えを深めている。【思考・判断・表現】

A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
<p>高齢者の心身の特徴や高齢者を取り巻く社会環境を踏まえ、着脱の介助を通して、安全に配慮すること、高齢者の自己決定、主体的参加の尊重の大切さに気付き、高齢者・介助者の立場に立って、考えを深めている。</p>	<p>着脱の介助を通して、安全に配慮すること、高齢者の自己決定、主体的参加の尊重の大切さに気付き、高齢者・介助者の立場に立って、考えを深めている。</p>	<p>実習の感想だけにとどまっている。介護者の立場のみで考えている。</p>